



おくら
小倉ダム
(佐渡市)



こんな
たくさん
の水、
どう
するの？



あがのかわとうしゅこう
阿賀野川頭首工
(阿賀野市)

お
コメを
育てる
水は
どこ
から
やって
くる
の
かな？

おいしい
おコメは
どう
やって
育つ
の？

おいしさの ヒミツは どこにある？



そそ
水が注がれる
田んぼ
(新潟市秋葉区)



うわえようすいる
上江用水路
(上越市・妙高市)



食と農を守る イノチのミズ

春、田んぼに水が張られると、大地は鏡のようにキラキラ光ってきれいですね。そこへ稲が植えられ、育っていくと、だんだんと大地は緑に変わります。そして秋、大地は黄金色に染まります。

この間、田んぼの水を乾かしたり、また入れたり。稲刈り時期には水を抜きます。一面に広がる田んぼを満たす水は、どこからどうやって、全部の田んぼに入っていくのか。地面より低い田んぼの水を、どうやって抜いて乾かすことができるのか。考えてみたことはありませんか？

私たちが生きていくためにも、おいしいおコメにも、野菜づくりに欠かすことのできない水。農業を支える人たちが出会うため、そして水の流れを確認するため、一緒に探検に出掛けましょう！

4年目を迎えた「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーンでは、刈谷田川右岸地区（三条市、見附市）、佐渡市、阿賀野川左岸地区（新潟市秋葉区など）の土地改良事業を取り上げます。旅するイラストレーター、木原四郎さんが現地を訪れ、水利施設や生産者をスケッチで紹介。また、新潟市秋葉区と阿賀野市の水利施設やスマート農業に取り組む生産者を巡り、農産物を取獲する親子・学生向けの「農業体感ツアーin新潟」を9月に開催します。来年1月には、新潟日報メディアシップで本年度の総括シンポジウムを開き、水利の恵みと新潟の農業の展望について考えます。詳細は新潟日報朝刊紙面やキャンペーン特設サイトをご覧ください。

◎「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン 特設サイトもご覧いただけます

特設サイトでは、水利・農業に関する情報や、土地改良事業の役割を発信しています。ダムや頭首工など県内の水利施設の紹介や、アーカイブとして過去の紙面もアップしています。 [水利が拓く 実りの明日へ](https://minori-niigata.jp/) 検索 <https://minori-niigata.jp/>



お問い合わせ

「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン事務局（新潟日報社広告部内）
新潟市中央区万代3-1-1 ●TEL 025-385-7474（土日祝日を除く／10:00～17:00）
●ファクス 025-385-7476 ●Eメール minori@niigata-nippo.co.jp

企画・制作 新潟日報社広告局 ◎主催／農林水産省北陸農政局 ◎共催／新潟日報社
◎後援／新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟